

平成 25 年度 独自目標取り組み結果

内子町環境マネジメントの運用において、平成 25 年 8 月から取り組みを開始しました。内子町においては、平成 18 年度に第 1 ステージ、平成 21 年度に第 2 ステージの認証を取得し、良好な結果を継続してきました。さらに平成 24 年度から全国でも初めての試みとなる第 3 ステージ第 1 ステップの取り組みを開始したところです。

独自目標については、第 1 ステージに 9 項目と第 2・第 3 ステージにそれぞれ 4 項目を設定し、取り組みを行いました。

目標別の結果

【第 1 ステージ】

A107 電気使用量を、平成 22 年度と比較して 4%以上削減します。【達成状況：○】

基準年度である平成 22 年度の電気使用量の合計は 3,722,218kwh であり、平成 25 年度は目標値を 4%以上削減として取り組みました。

今年は猛暑の夏、厳寒の冬でしたが、本庁で平成 22 年度と比較して約 33 千 kwh を削減したのをはじめ、各部署で節電に力を入れて取り組んだ結果、平成 25 年度の電気使用量の合計は 3,567,725kwh で 4.2%削減となり目標を達成する事ができました。

今後もエアコンの使用については適正温度を守り、クールビズやウォームビズに積極的に取り組みます。また、LED 電球への切り替えや省エネ機器の導入を進めていきます。

○ 目標の比較（詳細は資料 4 参照）

	平成 22 年度	平成 25 年度	増減率
電気使用量	3,722,218kwh	3,567,725kwh	△4.2%

A108 ガソリン使用量を、平成 22 年度と比較して 6%以上削減します。【達成状況：×】

基準年度である平成 22 年度のガソリン使用量は 67,296 リットルであり、6%以上削減するという目標を掲げて取り組んできました。

その結果、平成 25 年度の使用量は 65,831 リットルで 2.2%減少となり、目標達成することができませんでした。

走行距離が、平成 22 年度 797,068 km であったことに比べ平成 25 年度 810,463 km であることが使用量の増加につながっていると考えられます。燃費については、平成 22 年度 11.8 km/L から平成 25 年度 12.3 km/L と良くなっています（平成 24 年度の燃費 12.5km/L）。

運転する職員は一人一人が引き続きエコドライブを徹底して行い、削減に向けて取り組みます。

○ 目標の比較（詳細は資料 4 参照）

	平成 22 年度	平成 25 年度	増減率
ガソリン使用量	67,296 リットル	65,831 リットル	△2.2%

A109 軽油使用量を、平成 22 年度と比較して 15%以上削減します。 【達成状況：×】

基準年度である平成 22 年度の軽油使用量は 45,771 リットルであり、15%以上削減する目標を掲げて取り組みましたが、平成 25 年度の軽油使用量は 44,438 リットルと 2.9%の減少となり、削減目標を達成することができませんでした。

平成 24 年 8 月（小田地区 7 路線）及び平成 26 年 2 月（五十崎地区 4 路線）から、町営バスの一部がデマンドとなったことから、町営バスの走行距離は平成 22 年度と比べ約 46 千 km 減少しています。

今後も、エコドライブの実施や車内の冷暖房管理などの取り組みを推進し、削減に努めます（平成 25 年度の燃費 7.6 km/L）。

○ 目標の比較（詳細は資料 4 参照）

	平成 22 年度	平成 25 年度	増減率
軽油使用量	45,771 <small>リットル</small>	44,438 <small>リットル</small>	△2.9%

A110 紙ごみの分別率を 100%以上にします。

（リサイクル可能な紙ごみを可燃ごみに入れないようにします。）【達成状況：×】

エコオフィス監査及び LAS-E 監査時に、全ての施設のリサイクル状況を確認しておりますが、LAS-E 監査時に目視用チェックリストを使用して監査したところ、現場監査 29 部署中 2 部署で可燃ごみ箱にリサイクル可能な紙が混入していました。

リサイクル可能な古紙類として、次の 5 種類に区分して取り組んでおり、今後も分別が完璧となるよう啓発を継続します。（詳細は資料 4 参照）

- ①新聞紙 ・ ②ダンボール ・ ③ミックス古紙 1（B5 サイズ以上）
- ④ミックス古紙 2（B5 サイズ未満） ・ ⑤機密文書のシュレッダー

A111 職員のノーマイカーデー実施率を年平均で 80%以上にします。 【達成状況：○】

ノーマイカーデーは、基本的に毎月第 1 金曜日として、月に 1 回以上、徒歩や自転車、各職員の乗り合わせ等にて実施しています。

平成 25 年度もノーマイカー通勤に対して乗り合わせなどの目標を定めて取り組む部署があり、結果として 85.4%の実施率で目標を達成しました。なお、勤務場所や勤務形態によってノーマイカー通勤が難しい場合は、エコドライブ通勤を推進します。（詳細は資料 4 参照）

A112 可燃ごみの排出量を、平成 22 年度と比較して 20%以上削減します。

【達成状況：×】

基準年度である平成 22 年度の可燃ごみ排出量は 26,503kg であり、A110 において紙ごみの分別を徹底することから、20%以上削減するという目標を掲げ取り組んできました。結果、平成 25 年度の可燃ごみ排出量は 22,245kg で 16.1%削減となり、目標達成できませんでした。

各部署において可燃ごみの排出量削減に取り組んでいますが、平成 25 年度は閉校施設の整理や集計範囲を広げたことなどから目標達成できませんでした。今後も取り組みを継続するとともに、施設独自の取り組みについての情報を他の施設でも共有するなどの取り組みを推進します。

○ 目標の比較（詳細は資料4参照）

	平成 22 年度	平成 25 年度	増減率
可燃ごみ排出量	26,503kg	22,245kg	△16.1%

A113 温室効果ガスの排出量を、平成 22 年度と比較して 4%以上削減します。

【達成状況：×】

基準年度である平成 22 年度の温室効果ガスの排出量は 2,366,189kg-CO₂ であり、4%以上削減するという目標を掲げ取り組んできましたが、平成 25 年度の温室効果ガスの排出量は 2,314,657kg-CO₂、2.2%の削減となり目標達成できませんでした。

平成 25 年度の温室効果ガスの排出量は A 重油購入量で 5.9%、灯油購入量で 2.8%、LPG 購入量で 0.8%の増加となっています。これらの購入量は、事業活動に影響され削減が難しい項目もあることから、比較的取り組みやすいことから削減を進めていくことが重要であると考えられます。

また、設備の更新等においては、バイオマス利用や省エネ・高効率の設備を導入するなどの取り組みを推進することが重要となっています。

○ 目標の比較（詳細は資料4参照）

	平成 22 年度	平成 25 年度	増減率
温室効果ガス排出量	2,366,189kg-CO ₂	2,314,657kg-CO ₂	△2.2%

B111 環境に係る集合研修を年 1 回、部署別（施設単位含む）研修を年 2 回以上開催します。

【達成状況：○】

平成 25 年度においては、平成 26 年 2 月 26 日と 27 日に全町職員及び学校関係者を対象として、各部署で設定する独自目標についての学習会を行いました。また部署別研修についても、年 2 回以上実施されました。（詳細は資料4参照）

C107 環境に関連する情報を、広報やHPで年 12 回以上提供します。

【達成状況：○】

「広報うちこ」については、毎月 1 回の「暮らしのエコロジー」欄に記事を掲載しました。また、ホームページについても「広報うちこ」の掲載をはじめ、緑のカーテンや LAS-E の監査結果など更新しております。

○ 目標の比較（詳細は資料4参照）

	平成 25 年度掲載回数	総ページ数
暮らしのエコロジー	12 回	6 ページ
環境に関連した記事	15 回	約 15 ページ
合計	27 回	約 21 ページ

※ホームページ更新 12 回

【第2ステージ】

A208 内子町環境基本計画 3つのシンボルプロジェクトについて事業達成度を示す指数及び数値目標を設置し、実施します。 **【達成状況：69/84】**

資料5「平成25年度 内子町環境基本計画 3つのプロジェクト指数及び数値目標」参照

総計画：84事業 目標達成：69事業 実施率：82.1%

※事業計画別の詳細：添付冊子「内子町環境基本計画シート」参照

A209 内子町環境基本計画に関連した独自目標を各部署で設定し、実施します。 **【達成状況：○】**

資料6「平成25年度 所属別独自目標一覧」参照 全60部署 335目標

○ 目標の比較（詳細は資料6参照）

	目標数	達成度(%)
自然	114	89.0
暮らし	110	89.5
環境教育	111	88.2
合計	335	88.9

B209 内子町環境マネジメント推進本部会議を年2回開催し、評価・見直しを行います。 **【達成状況：○】**

平成25年度においては、平成25年7月1日の目標設定委員会の結果を受けて、8月1日に第1回目の推進本部会議を開催しました。内容は、平成24年度の独自目標の結果と平成25年度の独自目標について説明しました。

なお、第2回目の推進本部会議は平成26年2月3日に開催し、LAS-E判定委員会の結果について報告しました。

G209 環境に関する施策・事業について、町民との直接の意見交換会を年1回以上実施します。 **【達成状況：○】**

平成25年度においては、10月から1月にかけて「地域づくり懇談会」が町内13カ所で開催され、町の施策や町民の要望などの意見交換会が実施されました。

町民からはごみの分別やごみ収集かごの更新、公衆トイレのいたずら、再生可能エネルギーでメガソーラー事業についての意見が出されました。（詳細は資料4参照）

【第3ステージ】

A311 自治会が取り組む地域づくり事業のうち、環境に関連した事業について90%以上の達成率をめざします。 [達成状況：○]

資料7「平成25年度 地域づくり事業実績一覧」参照

環境関連事業：34事業 目標達成：34事業 実施率：100%

A312 再生可能エネルギーの活用を検討するため、住民団体の主催で、再生可能エネルギーの導入に向けた実践ワークショップを年3回開催します。 [達成状況：×]

平成25年度は、公共施設をはじめ一般家庭でも取り組める内容を学習し、町内の再生可能エネルギーの普及に努めようと7月31日にNPO法人環境NPOサン・ラブの主催のもとミニ太陽光発電キットの組み立てワークショップを1回開催しました。

年3回ワークショップを開催する目標でしたが、1回の開催しかできず、目標達成できませんでした。(詳細は資料4参照)

B304 内子町環境保全審議会を年1回以上開催し、住民主体で政策の評価・見直しを行います。 [達成状況：○]

平成25年度においては、平成26年3月18日に内子町環境保全審議会を開催しました。19名の委員の内15名が出席し、内子町の環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため慎重に協議していただきました。(詳細は資料4参照)

C307 町民・事業者や環境パートナーシップ組織の取り組みについて、年1回は広報で紹介するとともに、年次報告書に掲載し年1回公表します。 [達成状況：○]

「内子町環境報告書2012」(別冊資料参照)を作成し、環境トピックとして町民・事業者や環境パートナー組織の取り組みを掲載しました。

また、広報8月号では、事業所の取り組みを掲載しました。